

暴力団追放対策講習会の開催



会場いっぱいの講習会参加者

近年、暴力団排除機運の高まりと強力な取締り等によって暴力団は社会から孤立しつつありますが、民事介入暴力、金融、不良債権関連事犯等を多数引き起こすなど資金源は依然として活発であり、社会経済情勢の変化に対応して一層多様化、巧妙化の傾向を強め、市民社会特に建設業界においては相変わらず大きな脅威になっています。

こうした中、私ども会員企業においても、これら準構成員等による、あるいは姿を変えてのえせ右翼に加え、NPO・ボランティア団体を標ぼうし、圧力をかけての下請参入などの不当要求に接することも少なくありません。

これらの不当要求に屈しないためには、経営者だけでなく窓口など第一線の職員が、暴力団の現状を知るとともに、対応についてのノウハウを習得しておくことが重要であることから、暴力団追放対策講習会を平成22年2月25日（木）午後2時から（財）西播地域地場産業振興センター（じばさんビル）301会議室において開催いたしました。

始めにDVD「黒いパートナー」を鑑賞し、不当要求の具体事例を視覚で認識いただいた上で、財団法人暴力団追放兵庫県民センター専任講師の山崎幹男氏から「暴力団の現状と不当要求に対する対応要領について」と題して講演いただきました。山崎講師は平成20年に兵庫県警察本部暴力団対策課調査官を最後に退職された県警のOBで、在職中のほとんどを暴力団対策担当の刑事として取り締まりの第一線でご活躍されており、その豊富な経験をもとにお話しをいただきました。まず、やくざマナーの大きさと威力、多様なサイドビジネスについて触れられた後、暴力団対策法等の効果、組織の歴史、更には闇金やマンション勧誘の現状や、心構え、面談や対応の方法など決め細やかなお話を聞くことができました。最後に「理解し合おうとする」ことの危うさを注意いただき、有意義な講習会となりました。この講習会には、会員企業から100名が出席し、約2時間熱心に聞き入っていました。



DVD鑑賞



山崎講師講演